

令和 3 年度廃棄物施策の実施状況について

(1) ごみ減量化・資源化及び適正排出についての普及啓発

① 広報誌「広報ひろさき」【継続】

掲載時期	掲載内容
毎月 1 日号	たか丸くんのごみ減量速報
5/1	ごみ集積ボックス設置事業費補助金の紹介
6/1	不法投棄・野焼き防止の啓発
6/15	「ミニ・キエーロ」モニター募集
8/1	弘前市廃棄物減量等推進審議会委員の募集
9/1	「スポGOMI 大会 in 弘前」参加チーム募集
10/1	不要になったパソコン・携帯電話などは小型家電リサイクルへ
11/1	【教えて！たか丸くん】カラスのごみ荒らし防止について
12/1	【環境ニュース】弘前市廃棄物減量等推進員へ感謝状贈呈
	【教えて！たか丸くん】フードボックスへの寄付について
12/15	弘前市食品ロス削減推進計画案へのパブリックコメント募集
	12 月は食品ロスが増えます
	まだ使える不用品をリユース（再利用）しませんか
	年末年始のごみ収集と施設の休業について
2/1	【教えて！たか丸くん】リユース促進掲示板の利用について
3/1	引越しごみの出し方（リユース・リサイクルのすすめ）

※農業ひろさき 7/1 号「農業ごみの適正排出」

②ごみに特化した啓発広報誌「なごみ生活」【継続】

配布時期	掲載内容
<p>9/15 広報ひろさき 同時配布</p>	<p>特集：つくってみよう「ミニ☆キエーロ」 災害廃棄物の分け方・出し方 ごみ分別ステーション×海ごみゼロウィーク 始めてみませんか「てまえどり」 協定締結団体紹介、エコストア・エコオフィス紹介 これであなたも3キリマスター</p>
<p>3/15 広報ひろさき 同時配布</p>	<p>特集：「もったいない」を行動に!!～食品ロスの削減に向けて～ 減らそう！プラスチックごみ（リユース食器） リサイクルのゆくえ～ペットボトル～ 協定締結団体紹介、エコストア・エコオフィス紹介 電池のつけっぱなしダメ！絶対！（電化製品のごみ出し）</p>



③ごみ分別ガイドブック【継続】

配布等	掲載内容
<p>転入者へ配布 各公共施設へ 備え付け</p>	<p>ごみ出しの基本ルール、ごみの減量化・資源化 資源物の回収拠点、品目別ごみの出し方 ごみ処理施設への持ち込み、ごみ分別一覧表（50音順）</p>



④ラジオ広報 FMアップルウェーブ「行政なんでも情報」【継続】

毎月第1金曜（12月から第1月曜）11:30～11:40頃放送（10分程度）ほか

放送日	放送内容
4/2	弘前市ごみ収集アプリについて
5/7	ごみ集積ボックス設置事業費補助金について
6/4	今年もやります！ ミニ・キエーロ モニター事業
7/2	事業活動から生じるごみについて
8/6	スーパーやコンビニなどで実践できる食品ロス削減
9/3	スポGOMI大会 in 弘前について
10/4	衣類回収ボックスについて
11/1	野焼きはやめましょう
12/6	年末年始のごみの出し方について
12/28	リユース促進掲示板について
12/29	年末年始のごみの出し方について
1/3	令和3年のごみ減量・資源化の各種取組について
2/7	プラスチックごみ問題について
3/7	廃棄物減量等推進員について

⑤ごみ分別収集アプリ【継続】

50音別分別ガイドや、収集日カレンダー、資源物拠点回収マップの機能を搭載した、スマートフォン用アプリを導入し、無料で配信しています。

年度	H30	R1	R2	R3 (~12/31)
ダウンロード数	1,985	4,653	3,102	2,028



基本計画の関連項目 普及啓発施策一ア. 広報誌やインターネット等による情報発信 (P. 33)

⑥市町会連合会との協働によるワークショップ型ごみ減量等啓発活動

「ごみ減量チャレンジ」開催【継続】

テーマ：ごみを減らすための楽しいアイデアを考えよう

地区住民に広めるアイデアを考えよう

ごみ減量チャレンジを作成しよう



年度	R1	R2	R3
実施回数	11（会場）	1（書面）	14 （会場 3、書面 11）
参加人数	285	—	310

⑦出前講座【継続】

講座名	実施回数	人数
1. ホントは知らないごみのお話 ～減量化って？資源化って？～	5	136
2. ごみの分け方出し方（事業所版）	—	—
3. 地域のみんなではじめよう再生資源回収運動	—	—
合 計	5	136

※令和元年度 19回、令和 2 年度 5 回実施



基本計画の関連項目 ▶ 普及啓発施策－ウ. ワークショップ型勉強会などによる周知啓発 (P. 34)

⑧ スポGOMI大会の開催【継続】

スポーツとごみ拾いを掛け合わせた、年齢・性別を問わず多くの方が参加できる競技であるスポGOMI大会を市内で開催することで、ポイ捨てなどごみ問題を考えるきっかけづくりとし、若年層や普段環境問題に関心のない層の環境意識向上を図りました。



年度	R2	R3
参加チーム	16	24
参加人数	63	99
回収量 (kg)	14.14	26.61



⑨ イベント会場でのエコステーション設置・リユース食器の活用【拡充】

イベント会場に分別を補助する人を配置したエコステーションを設けることで、イベント時に発生するごみの適正処理を促しました。また、リユース食器を活用したモデル事業を実施し、来場者の環境意識向上を図りました。

弘前城菊と紅葉まつり実績

エコステーションによる資源回収量 (kg)	リユース食器によるごみ削減量 (kg)
49.72	8.2



(2) ミニ・キエーロのモニター事業【継続】

家庭から排出される燃やせるごみの約4割を占める生ごみの減量化を推進するため、生ごみ消滅型処理ボックス「ミニ・キエーロ」の市民向けモニター事業を行いました。また、事業所等への普及を視野に大型の「メガ・キエーロ」を製作し、給食提供のある保育園で実際に使用してもらった実証実験を始めています。



年度	R2	R3
参加者	194	148
アンケート回答	161	91

基本計画の関連項目 ▶ 普及啓発施策一オ. 消滅型生ごみ処理ボックス「ミニ・キエーロ」の普及推進(P. 34)

(3) 電動式生ごみ処理機の貸与【継続】

家庭から排出される燃やせるごみの約4割を占める生ごみの減量化・資源化を推進するため、電動式生ごみ処理機の貸与を実施しています。

年度	H30	R1	R2	R3 (~1/31)
貸与台数	40	32	33	35

基本計画の関連項目 ▶ 普及啓発施策一カ. 家庭用電動生ごみ処理機の普及推進(P. 34)

(4) スーパー等における食品ロス削減啓発キャンペーン【新規】

賞味・消費期限切れで購入されずに廃棄されてしまう食品の発生抑制を目指し、市内スーパー等の協力を得て、「てまえどり」などの啓発ポップやポスターを店内に掲示してもらったキャンペーンを実施し、食品ロス削減の啓発を図りました。

実施時期	R3.3～R3.4	R3.12～R4.1
協力店舗	26	29
啓発資材枚数	A3版：322枚、A4版：144枚 棚札入れ版：1,000枚 レールポップ版：420枚	



基本計画の関連項目 ▶▶▶ 普及啓発施策一キ. 食品ロスの発生抑制・再資源化の推進 (P. 34)

(5) 古紙類回収ステーション【継続】

古紙類（新聞、雑誌・雑がみ）のリサイクルを推進するため、市内5カ所の公共施設に回収ステーションを設置し、拠点回収を実施しています。

令和元年度下半期から回収ステーションごとオフィス町内会へ加入することで、新たにダンボールを回収品目に加えたほか、令和2年度にはステーションの改装を行うなど、利便性の向上を図っています。

●回収ステーション設置場所（5か所）

- ①市役所本庁舎 ②岩木庁舎 ③相馬庁舎 ④土手町倉庫 ⑤総合学習センター

品目	H30	R1	R2	R3（～12/31）
	回収量（kg）	回収量（kg）	回収量（kg）	回収量（kg）
新聞紙	21,989	17,929	16,394	12,120
雑誌・雑がみ	40,655	43,501	49,429	35,168
ダンボール	—	862	5,276	6,619
古紙類合計	62,644	62,292	71,099	53,907



(6) 古紙類（新聞、雑誌・雑がみ）の行政回収【継続】

古紙類（新聞、雑誌、雑がみ）のリサイクルを推進するため、平成 24 年度から月 1 回の行政回収を実施しています。回収した古紙類は、資源回収業者に売払い、市の歳入としています。

品目	H30		R1		R2		R3 (~12/31)	
	回収量 (kg)	売払収入 (円)	回収量 (kg)	売払収入 (円)	回収量 (kg)	売払収入 (円)	回収量 (kg)	売払収入 (円)
新聞紙	497,800	6,434,146	475,800	5,374,199	410,128	3,449,723	312,090	2,665,032
雑誌・ 雑がみ	504,390	2,986,204	882,090	4,818,483	828,820	2,262,353	602,930	1,728,624
古紙類 合計	1,002,190	9,420,350	1,357,890	10,192,682	1,238,948	5,712,076	915,020	4,395,656

基本計画の関連項目

普及啓発施策一ク. 古紙類回収の推進(P. 35)

(7) 使用済小型家電リサイクル【継続】

「使用済小型電子機器等の再資源化に関する法律」の施行に伴い、金属資源を有効利用するため、平成24年度から圏域市町村（黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村）と合同で回収ボックスなどによる回収及び中間処理施設でのピックアップ回収を実施しています。

また、圏域市町村と定期的に会議を開催し、効率的・効果的な回収方法について協議しているほか、平成28年3月に合同で国の認定事業者であるリネットジャパン株式会社と宅配便回収についての協定を締結しています。

※協定の締結は北東北の自治体初、定住自立圏関係市町村による同時締結は全国初

※中国のプラスチック輸入規制の影響で令和2年度から小型家電の回収は逆有償化

・回収ボックス設置場所（11か所）

- ①市役所本庁舎 ②岩木庁舎 ③相馬庁舎 ④総合学習センター
 ⑤ヒロロスクエア ⑥弘前地区環境整備センター ⑦ケーズデンキ弘前本店
 ⑧～⑩ユニバース堅田店・南大町店・城東店・松原店
 ⑫～⑰市内各出張所窓口回収（石川・裾野・高杉・新和・東目屋・船沢）

回収量 (単位:kg)	H30	R1	R2	R3 (~12/31)
ボックス回収	3,260	3,530	3,648	2,842
ピックアップ回収	20,867	15,904	9,902	7,029
宅配便回収	2,349	3,665	2,044	1,425
計	26,476	23,099	15,594	11,278



基本計画の関連項目 ▶ 普及啓発施策—コ. 使用済小型家電リサイクルの推進 (P. 35)

(8) 衣類回収【継続】

平成 27 年度から市役所などの公共施設に衣類回収ボックスを設置し、家庭で不用になった衣類を回収しているほか、再生資源回収運動の回収品目にも追加しています。

・回収設置場所（17 か所）

- ①市役所本庁舎 ②岩木庁舎 ③相馬庁舎 ④総合学習センター
 ⑤ヒロロスクエア ⑥清水交流センター ⑦千年交流センター
 ⑧北辰学区高杉ふれあいセンター ⑨イオンタウン樋の口
 ⑩ユニバース松原店 ⑪イトーヨーカドー弘前店 ⑫いとく浜の町店
 ⑬～⑰市内 5 出張所窓口回収（石川・裾野・新和・東目屋・船沢）

年度	H30	R1	R2	R3 (~12/31)
回収量 (kg)	98,111	134,513	159,917	128,178



(9) 再生資源回収運動【継続】

町会・子ども会・PTAなどの団体が、回収の日時・場所を決め、家庭から出る資源物を回収業者に引き取ってもらう自主的なリサイクル活動に対し、回収量1kgあたり4円の報償金を交付しています。

●回収実績（単位：kg）

品目		年度			
		H30	R1	R2	R3 (~12/31)
古紙類	新聞紙	694,218	595,244	453,400	368,319
	雑誌類	318,961	295,383	265,833	206,744
	ダンボール	375,473	380,433	369,234	296,263
	紙パック	20,326	18,520	17,247	14,104
古紙類計		1,408,978	1,289,580	1,105,714	885,430
アルミ缶		54,986	51,489	48,208	39,808
衣類・布類		6,770	7,680	6,929	5,614
ビールケース		830	828	508	242
ペットボトル		22,831	24,845	25,101	23,686
びん		31,996	26,211	20,293	14,505
合計		1,526,391	1,400,633	1,206,753	969,285

●報償金交付実績

年度	H30		R1		R2		R3 (~12/31)	
	団体数	報償金額 (円)	団体数	報償金額 (円)	団体数	報償金額 (円)	団体数	報償金額 (円)
町会	74	2,317,312	71	2,217,196	72	1,840,384	72	1,675,164
婦人会	12	217,248	9	149,792	9	120,856	9	95,304
PTA	42	2,385,996	37	2,036,608	37	1,409,048	37	1,328,092
幼稚園・保育所	9	126,232	9	116,548	9	91,304	9	42,640
子供会	5	86,232	6	125,936	6	100,240	6	124,792
その他	38	972,544	39	956,452	40	592,932	41	611,148
合計	180	6,105,564	171	5,602,532	173	4,154,764	174	3,877,140

(10) 生ごみ堆肥化容器の斡旋補助【継続】

家庭から排出される燃やせるごみの約4割を占める生ごみの減量化・資源化を推進するため、町会連合会の斡旋による生ごみ堆肥化容器の購入1基に対し、2,000円の補助金を交付しています。

年度	H30	R1	R2	R3
補助基数	34	43	35	9
補助額(円)	68,000	86,000	70,000	18,000

基本計画の関連項目 ▶ 経済的動機付けによる施策一ツ. 生ごみ堆肥化容器の購入補助(P. 37)

(11) ごみ減量化・資源化の推進に関する協定締結【継続】

ごみ減量化・資源化を進める上でキーポイントとなる、市民・事業者・行政の協働を強化するため、各市民団体や事業者団体と協定を締結し、それぞれの団体の特色に合わせたごみ減量化・資源化施策を展開しています。

年度	H30	R1	R2	R3 (2月末時点)
協定締結団体 (累計)	2	13	17	20

※R2.12.3(株)ジモティーとのリユース活動促進に向けた協定締結を含む。



基本計画の関連項目 ▶ 市民や事業者の協力による施策一二. 各市民団体・事業者団体等との協定締結

(12) 廃棄物減量等推進員【継続】

町内のごみ問題を把握し、ごみの適正排出、分別促進、不法投棄防止のための指導等を行うため、各町内会に推進員を配置しています。

年度	H30	R1	R2	R3 (1月末時点)
設置町会数	283	282	271	275
配置人数	610	618	601	619

基本計画の関連項目 ▶ 市民や事業者の協力による施策一ヌ. 廃棄物減量等推進員の活用 (P. 38)

(13) 不法投棄・不適正排出防止キャンペーン【継続】

市民、行政が連携・協力し、ごみ収集前の排出状況の確認、排出時の指導、ごみ収集後の集積所の確認や清掃、監視カメラ設置など、ごみ集積所の環境美化を図るとともに、相互の関係性を強化し、不法投棄や不適正排出のしづらい環境づくりを行っています。

	R2	R3
実施日	4/20、4/27、6/16、8/12、 8/18、9/30、10/12、10/20、 10/21、10/28(計10日間)	4/1、5/12、7/2、7/20、 9/7、11/9(計6日間)
実施場所	石川町会、菫中町会、桜ヶ丘県営住宅第二町会、泉田町会、高田町会、北園町会、大原町会、城東中央一丁目町会、城東中央四丁目町会 (9町会12カ所)	城南町会、高田町会、桜ヶ丘県営住宅第二町会、一町田町会、さくら団地町会、中野町会 (6町会、10カ所)



基本計画の関連項目 ▶ その他一マ. 野焼き・不適正処理対策 (P. 40)

(14) ごみ出しサポート事業【継続】

高齢者や障がい者など介護が必要な世帯で、ごみ集積所までのごみ出しが困難となっている世帯を対象に、通常の収集とは別に、市の職員が週1回、自宅前まで収集に伺うごみ出しサポート事業を令和2年度から開始し、ごみ出しに係る負担の軽減を図っています。

年度	R2 (年度末)	R3 (2月末)
サポート世帯	89	124



基本計画の関連項目

その他一ミ. ごみ出しサポート事業 (P. 40)

(15) 水銀添加廃製品の回収【継続】

平成30年1月から水銀添加廃棄物の適正な分別・回収の促進を目的に、家庭内に眠っている水銀体温計・水銀温度計・水銀血圧計等を回収しています。

回収窓口	本庁舎（環境課）、 市民課駅前分室（ヒロコ3F）、 市民課城東分室、 岩木総合支所民生課、 相馬総合支所民生課、 弘前地区環境整備センター、 東目屋出張所、船沢出張所、 高杉出張所、裾野出張所、 新和出張所、石川出張所
------	---



基本計画の関連項目

その他一メ. 処理困難物への対応 (P. 40)

(16) 事業系ごみ適正排出指導【継続】

平成 27 年度より市のごみ収集運搬委託業者である弘前環境管理協同組合の協力を得ながら、主に店舗兼住宅や小規模事業所を対象に、本来事業系ごみとして排出すべきごみが家庭系ごみとして集積所等に排出されている状況を市内一斉に調査するとともに、排出元を特定し、指導を行っています。

年度	H30	R1	R2	R3 (~12/31)
指導件数(件)	24	20	16	9

基本計画の関連項目 ▶ 普及啓発施策一ケ. 事業系ごみの適正分別・適正排出の推進(P. 35)

(17) 展開検査・搬入規制【継続】

事業系ごみの適正排出を促進するため、平成 27 年度から弘前地区環境整備事務組合が管理・運営する環境整備センターにおいて、搬入される事業系ごみの展開検査を実施しています。

また、令和元年 12 月から搬入規制（分別不十分、産業廃棄物混入）を実施し、事業系ごみの更なる適正排出と減量化・資源化を図っています。

展開検査実績		H30	R1	R2	R3 (~12/31)
検査日数		237	274	220	198
台数	可燃	960	2,138	1,931	927
	不燃・大型	234	683	152	50



基本計画の関連項目 ▶ ルールづくりによる施策一ツ. 焼却施設における展開検査(P. 36)

(18) オフィス町内会の推進【継続】

平成 22 年度に設立された「弘前地区オフィス町内会」は、一般の会社や事務所、官公庁、病院、銀行などの事業所から排出される古紙類を資源回収業者が無料で回収するネットワークです。

市では、事業系古紙類のリサイクルを推進するため、広報活動などにより、排出事業者会員の拡大を図っています。平成 30 年度末からは、各団体との協定の中で、オフィス町内会への積極的な加入を呼びかけています。

●回収品目及び対象地区

回収品目	(1) 一般古紙（無料） ダンボール、新聞等（新聞、チラシ）、その他の紙 (2) 機密文書（有料）
対象地区	弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、 大鰐町、田舎館村、西目屋村

●会員数及び回収実績（弘前市分）

年度	H30	R1	R2	R3 (~12/31)
会員数	297	386	405	410
回収量（kg）	440,470	502,496	612,382	439,372

●県内 4 地区回収実績推移（単位：kg）

年度	H30	R1	R2	R3 (~12/31)
青森地区	231,353	235,842	240,414	181,688
弘前地区	556,852	621,940	760,104	572,142
西北五地区	63,449	67,851	62,045	46,645
十和田地区	237,140	243,645	219,451	172,249

(19) 一般廃棄物組成分析調査【継続】

ごみの排出状況を把握するとともに、どのような種類のごみがどの程度含まれているか（組成割合）を調査し、更なるごみの減量化・資源化推進のための基礎資料としています。

●実施回数

	H30	R1	R2	R3
家庭系燃やせるごみ	4回	4回	4回	4回
家庭系その他の紙	1回	—	—	—
家庭系雑がみ	1回	3回	2回	—
事業系燃やせるごみ	2回	3回	4回	—

●想定条件ごとの実施回数（家庭系燃やせるごみ調査）

	H30	R1	R2	R3
学生居住地域	1回	0回	1回	1回
商業地域	0回	0回	0回	1回
住居地域	1回	2回	2回	1回
農村地域	2回	2回	1回	1回
住居兼工業地域	0回	0回	0回	0回

●調査結果

